

令和4年度

石狩浜海浜植物保護センター 中間報告



【保護センター館内】

| 項目 | 目的 | 手法 |
|-----------------|--|--|
| 常設展示の維持管理 | 来館者が、どんな時期に来て石狩浜の成り立ちや保全活動、海浜植物について学べる展示。。その季節に合った新しい情報の発信、保護センター内外含めた開花情報や環境情報の更新を実施。 | 調査写真や、観察園の開花情報などを随時更新（目安として月に1度）。 展示の内容については、R5年度に出来上がる石狩浜のアクションプラン作成に合わせてR6年度以降見直しを検討。 |
| フィールドマップの情報更新 | | |
| 調査研究報告、学習報告等の掲示 | 研究現場での調査や実験について、来館者に情報を発信する場として設置。 | 今後、道総研の聚富地区での植生 |

【中間報告】

常設展示の維持管理



保護センターの観察園内で開花している植物を中心に展示。
お客さんの反応としては、写真の情報を見て観察園に行くことが多い。



6月11日に実施していたはまなすフェスティバルの開催様子の情報や、環境課で本町地区に配布しているいしかりカエル通信、保護センターの通信はまぼふうなどの展示。その他、アカモズに対する観察のマナー啓発用ポスターなども展示し、周知を実施した。



フィールドマップの情報更新



はまなすの丘公園や聚富原生花園、その周囲の環境状況の様子や植物の写真を随時更新。

写真については現況調査などで行った際に、花の写真などを記録して、保護センターでも共有するように図っている。

展示はしていないが監視員によるハマナスの丘公園の海浜植物情報についても随時記録し、情報として集めている。

その他、観察園入口に、現在の花の見どころということで、咲いている花の紹介。

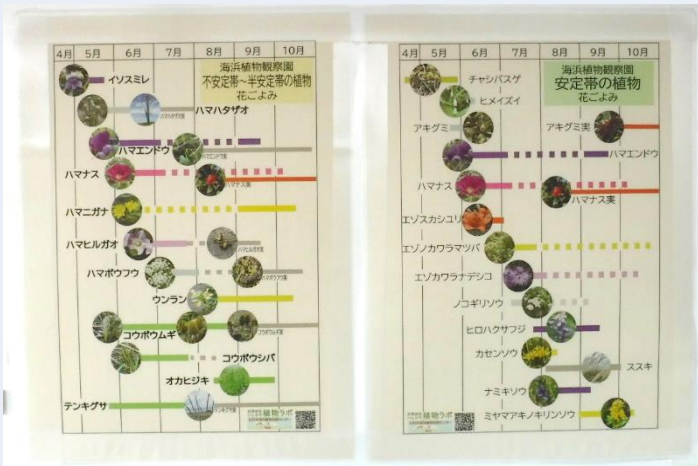
来館者さんを見ていると、その写真を見て観察園に行くことが多い印象を受ける。

【観察園】

| 項目 | 目的 | 手法 |
|----------------------|---|--|
| 園路および表札の整備・維持管理 | 来館者の方が安全に見学できるように、園路の整備及び花の情報の提示。 | 日常業務内で点検。 |
| ゾーンの目的に沿った 植生維持管理 | 自生地の植生調査をもとに、展示内容と連動した植生遷移の再現をすることでコンパクトに石狩浜の自然環境や海浜生態系を見学できる場所とする。その他、野生下では見ることが難しくなった植物の保全場所としての利用。 | 自然状態を再現しつつ、維持管理として効率の良い手法の検討・実施。 環境学習(ほりほりゾーン)への利用場所の設置 |

【中間報告】

園路および表札の整備・維持管理



観察園入口に観察園の花の時期や、場所の説明をつけている。

主な植物には看板をつけて名前と情報を分かりやすくしている。多くなりすぎると、景観を損ねる場合もあるため、多すぎず、少なすぎずを調整している。

その他、ドクガの発生や木道の維持など来館者の来館の妨げになるものもあるため、随時チェックをして対応をしている。

ゾーンの目的に沿った植生維持管理



令和3年度より市の直営となり、委託団体から引き継いだ形で観察園の維持管理を継続している。

石狩浜の代表的な植生を自生地から何力所か選定し、近づくように剪定・除草等を実施している。特に後浜から海岸林までを再現した植生再現区ではなるべく外来種が入らないように植生を維持管理。

今後、秋には後浜と、第一砂丘ゾーンは掘り起こしをすることで人為的な攪乱を起こし、より自然な状態に近づけるような管理を続けていく。

維持している観察園は、来館者が花を見るだけにとどまらず、環境学習等でコンパクトに石狩浜の植生を案内するなどに活用している。

【ハマナス再生園】

| 項目 | 目的 | 手法 |
|--|---|--------------------------|
| 体験学習やイベントを想定したハマナス再生園の整備・維持管理 | 来館者の方が安全に見学及び花摘み等ができるように、園路の整備及び花の情報の提示。 | 日常業務内で点検 |
| 市民参加によるハマナス再生園維持管理 「ハマナスHealthyタイム」の内容充実 (ミニレクチャー・ポストカード配布等) | ハマナス再生園の維持管理の一部を市民の活動と組み合わせ、維持管理の一手法として維持と普及啓発を目的に実施。 | ハマナスHealthyタイムの実施(月1回程度) |

【中間報告】

体験学習やイベントを想定したハマナス再生園の整備・維持管理

「いしかり本町灯台とハマナス Day2022～石狩灯台130周年記念～」連携イベント
第10回 **はまなすフェスティバル** 2022
6月11日(土) 10時～14時
石狩浜海浜植物保護センター (弁天町48-1)
申込み不要

※当日は、外車禁入です。
※雨天は、雨天の都合により変更させていただきます。
※花摘みは、摘み取った花は持ち帰っていただけます。
※花摘みは、摘み取った花は持ち帰っていただけます。
※花摘みは、摘み取った花は持ち帰っていただけます。

花摘み体験について
・摘み取る際は、摘み取る前に手を洗ってください。
・摘み取る際は、摘み取る前に手を洗ってください。
・摘み取る際は、摘み取る前に手を洗ってください。

ご来場にあたってお願い・お知らせ
・駐車場の整理など、ご協力をさせていただきます。
・駐車場の整理など、ご協力をさせていただきます。
・駐車場の整理など、ご協力をさせていただきます。

主催 石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会
共催 石狩浜海浜植物保護センター (石狩市)
お問い合わせ 同事務局 メール: ishikarihamanasu@gmail.com

ハマナスの花弁・果実採取の場だけではなく、ハマナスを通じた石狩浜の普及啓発事業の一環として普及啓発イベント「はまなすフェスティバル」の実施や、環境学習での活用など実施した。

○第10回はまなすフェスティバル
開催日: 令和4年6月11日(土)
時間: 10時～14時
参加者: 400人
内容: ハマナスの花摘み体験
ハマナスの蒸留実演
ハマナスなぞときクイズ
ブースめぐりスタンプラリー
ハマナスカフェ&雑貨販売
ハマナスサロン ほか

○環境学習

【Ⅰ】

日時: 令和4年6月29日
機関名: 緑苑台小学校(3年生)
内容: ハマナスの花や葉の観察

【Ⅱ】

日時: 令和4年7月13日、15日
機関名: 花川小学校(3年生)
内容: ハマナスの実の観察

【Ⅲ】

日時: 令和4年7月20日
機関名: 北陽認定こども園
内容: ハマナスの苗の植え替え



「ハマナスHealthyタイム」の内容充実(ミニレクチャー・ポストカード配布等)

LOVE ISHIKARI COAST with HAMANASU
ハマナス咲く石狩海岸の自然を未来にーハマナス再生プロジェクトー

荒廃した砂丘地に、ハマナス彩る風景を再現する
そのための手法を、みんなが参加して、検証していく
そんな活動の場、ハマナス再生園と一緒に汗を流しませんか？

参加者募集
除草や移植でハマナス彩る景観づくりのお手伝い

ハマナス Healthy タイム 2022

| | | | | |
|------|------|------|------|-------|
| 開催日 | 5/12 | 6/9 | 8/25 | 9/22 |
| 受付時間 | 5/26 | 7/14 | 9/8 | 10/13 |

マークの日は、苗の移植を行います。
各回、ハマナスや海岸植物の小ばなしポストカード付
いずれも10～12時(集合:10時石狩浜海植物保護センター)
持ち物等:園芸作業手袋・汗拭タオル・長靴着用おすすめ
各前日までにお申込みください。
お申込み・お問合せ:0133-60-6107(石狩浜海植物保護センター)

石狩浜ハマナス再生プロジェクトって?
ハマナス咲く石狩浜の風景を未来にのこし、ハマナスをメインに、自然と共生する地域づくりをめざすのが本プロジェクトです。市民ボランティア、企業者、石狩市(石狩浜海植物保護センター)が連携して、「ハマナス再生園」でのハマナス再生手法の検証や、イベントの実施、ハマナスの景観づくりを通じて、石狩浜と石狩市ハマナス再生プロジェクトをテーマにした地域の魅力を発信しています。

石狩浜海植物保護センター
電話 0133-60-6107
所在地 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1
開館日 4/29～11/3
開館時間 10:00～16:00
休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日) 閉館時間17:30
ハマナスHealthyタイム企画・運営 合同会社いしかり植物ラボ



ハマナス再生園の維持を市民参加型で実証するために、月に1～2回の頻度で市民活動の一環として除草作業イベントを実施。

昨年度までは道民カレッジの連携講座として登録。本年度より石狩市民カレッジの連携講座として実施。

リピーターによる参加者により、下草などの除草を継続して実施。今年度は参加者にポストカードやミニレクチャーを追加し、参加者にも作業だけではない学びの時間も加えた。

○開催日

【第1回目】

日時:5月12日(木)

参加者:3名

内容:苗の移植

こばなし:イソスミレ・ハマボウフ

【第2回目】

日時:5月26日(木)

参加者:3名(新規1名)

内容:外来イネ科牧草除去

こばなし:海岸草原でハマナスとともに育つ植物

【第3回目】

日時:6月9日(木)

参加者:6名

内容:外来イネ科牧草除去

こばなし:ハマナスの花の寿命

【第4回目】

日時:7月14日(木)

参加者:8名(新規1名)

内容:外来イネ科牧草除去

こばなし:ハマナスの花と結実



ハマナスこばなしシリーズ
参加者にお礼として配布

【環境学習】

| 項目 | 目的 | 手法 |
|-------------------|---|---------------------|
| 事前学習の補助 | 市内教育機関からの依頼が多様化していることから、学習の目的と所要時間を設定し、アクティブラーニングを主体とした石狩浜の授業内容の構築。 | 環境学習の実施から教材、内容の見直し。 |
| ワークシート・体験プログラムの構築 | | |

【中間報告】

事前学習の補助

石狩浜ってどんなところ？
おさえておきたい石狩浜の自然のみどころをざっくりと紹介します。クイズの答えは、インターネットで調べてみたり、保護センターの展示からさがしてみよう。

石狩浜ってどんな場所にある？
 ・日本三大河川・石狩川の河口にある（全長268 km）
 ・日本海に面する場所にある

石狩川の長さは全国何位？
_____位

石狩川のはじまる山（源流）は？

石狩浜の自然の特徴は？
 ・石狩川の上流から大量の土砂が運ばれてくる
 ・日本海から強い風がらきつける（季節風）
 ・砂浜・海岸砂丘がある
 ・海浜植物や海浜地帯で生きる生きものがある。
 ・日本一大きいといわれるカンフの海岸林がある

石狩浜海浜植物保護センターとは？
砂浜・海岸砂丘・海浜植物（海に近い場所で生きる植物）など、石狩浜の自然の特徴を守るためにできた施設です。石狩浜の自然や、大切さを紹介しています。

○石狩浜に見られる海浜植物で知っている植物を書いてみよう

○次の海浜植物を調べてみよう（どんな植物かな？/どんなところにあるかな？）

| カシワ | ハマボウフウ | テンキグサ |
|-----|--------|-------|
| | | |

○海浜植物の特徴を調べてみよう（はっぱ/根/くき）

保護センターに来館予定の教育機関に対して、事前にプリントを配布。

学校ごとにタブレットを使って、来館前にワークシートを見てくれることが多かった。

事前に調べてくれることで、来る前に準備ができているため、子どもたちもスムーズに話を聞けるような印象。

石狩川の長さは全国何位？
_____位

石狩川のはじまる山（源流）は？

石狩浜海浜植物保護センターとは？
砂浜・海岸砂丘・海浜植物（海に近い場所で生きる植物）など、石狩浜の自然の特徴を守るためにできた施設です。石狩浜の自然や、大切さを紹介しています。

ワークシート・体験プログラムの構築

5沖浜海浜植物保護センター 学習シート2022
かんさつ

ハマナスを観察してみよう!!

ハマナスを見て、ハマナスだと思うものにチェックをつけてみよう!※わからないで見てみよう

【花】

花びらは_____まい

【葉】

【茎】

【実】

実になるところを○をつけよう

砂の中の海浜植物はどうなっている…?《ほりほり体験》

○砂の中で海浜植物はどんな姿だと思おう?そうぞうしてみよう

【ほりかた】

① 観察する植物を1つ、とちゆうで切れないように注意してほりましょう。

② ほった植物のくきの長さをメジャーではかってみよう。

③ 全体をかんとんにスケッチして、気がついたことをメモしておこう。

植物 _____

長さ _____

今年度より昨年作成したワークシートを、来館することが多い3・4年生に合わせて修正。

学校ごとの要望時間、実施する時期に合わせた内容の見直しと、キーワードの確認などを検証。

【Ⅰ】

日 時:令和4年6月29日(水)

機関名:緑苑台小学校(3年生)

内 容:展示室、観察園、ハマナス再生園

【Ⅱ】

日 時:令和4年7月7日(木)

機関名:紅南小学校(3年生)

内 容:展示室、観察園

【Ⅲ】

日 時:令和4年7月8日(金)

機関名:石狩八幡小学校(5年生)

内 容:展示室、観察園

【Ⅳ】

日 時:令和4年7月13日(水)、15日(金)

機関名:花川小学校(3年生)

内 容:展示室、観察園、ほりほり体験

のべ 5校 212名(児童198名、教員14名)



【来館者のニーズ、意識把握】

| 項目 | 目的 | 手法 |
|----------|-------------------|-------------------|
| アンケートの実施 | 来館者からの意見を聞く機会の創出。 | センター内にアンケート用紙の設置。 |

【中間報告】

アンケートの実施



石狩浜海浜植物保護センター 利用者アンケート

ご来館日 令和 3 年 月 日

Q1. お住まいについて伺います。当てはまる項目に○を記入してください。

1. 石狩市 2. 札幌市()区 3. 道内 4. 道外

Q2. 年代について伺います。当てはまる項目に○を記入してください。

1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上

Q3. 当センターのご利用に関して伺います。

| Q3-1. 当センターは年に何回 ご利用されますか。 | Q3-2. 本日の来館目的を教えてください。 (複数回答可) | Q3-3. 当センターをお知りになった きっかけを教えてください。 |
|--|---|---|
| 1. 始めて 2. 数年に1回 3. 年に1回 4. 年に()回 5. その他 | 1. なんとなく入ってみた 2. 休憩・トイレ 3. 開花情報を知るため 4. 石狩浜の自然を知るため 5. 保護活動について知るため 6. 当センターのイベントへの参加 7. 観光 8. その他(具体的に) | 1. 通りがかり 2. 新聞・雑誌 3. 広報いしかり 4. 当センターホームページ 5. 他施設での情報 6. その他(具体的に) |

Q4. 当センターをご利用になって面白かったり、興味深いや感じた展示や活動はありましたか。当てはまる項目すべてに○を記入してください。

1. 特になかった

2. 季節の自然情報 花ごよみ、フィールドマップなど

3. 石狩浜の自然に関する展示 下記のとおりはまる展示に○も記入してください。

海浜植物保護のあゆみ・地形のなりたち・石狩浜の自然・海浜植物・海辺の生き物
展示全般・その他()

4. 観察園

5. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト・ハマナス再生園

6. その他 具体的にありましたらご記入おねがいします。

裏面につづきます ➡

8. 外来動物の捕獲・駆除(アズマヒヤゲルなど)

9. 石狩浜のゴミ拾い活動

10. その他()

Q8. 当センターへのご意見、期待することなど、ご自由にお書きください。

本アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
本紙を回収箱にお入れください。
石狩環境市民部 石狩浜海浜植物保護センター

令和4年7月29日現在で24枚のアンケートを収集。

引き続き来館者の意見をまとめ、意見として参考にさせていただきます。

内容についてはR3年度のアンケートを引き続き使用。

【情報発信】

| 項目 | 目的 | 手法 |
|-------------------------------------|---|--|
| ホームページ維持管理 | 来館を促すだけでなく、来ることができない人へも石狩浜の自然について知ってもらうための普及啓発。 | 調査写真や、観察園の開花情報などを随時更新（目安として月に1度）。 展示の内容については、R5年度に出来上がる石狩浜のアクションプラン作成に合わせてR6年度以降見直しを検討。 |
| 情報誌の発行 | | |
| 調査研究等報告会の開催 | | |
| 近隣施設での情報案内 | | |
| CISEネットワーク・館ネットワーク・その他団体主催事業への協力・出展 | 石狩市外へのセンター及び石狩浜について積極的なPR。 | 他団体の主催イベントに参加 |

【中間報告】

ホームページ維持管理

保護センターの海浜植物日記2022

石狩浜でよく見られる海浜植物を中心に、日々の様子を写真でご紹介します。
（※写真の無断転載はお控えください）

2022年7月15日 エゾリトリノオ（オオバコ科）



（石狩浜海浜植物保護センター観察園）

令和4年7月29日現在で、保護センターで展示している開花状況と同じ内容を発信。

情報誌の発行



石狩浜海浜植物保護センターは毎月20日に22年目の開館を迎えました。今年も定評ある内容が盛り込まれ、華やかな海浜植物の姿と見せてくれました。もうすぐ夏の花の盛りですが、海浜植物も同じくらい盛りだくさんの季節がはじまっています。

〒010-6107 FAX:0113-60-6146
City.Ishikeri.hokkaido.jp
所在地 〒061-3372 石狩市天来48番1
開館日 4:20~11:30 10:00~16:00
休館日 冬場休館、恒例の場合は要確認
ホームページ <https://www.city.ishikeri.hokkaido.jp/site/kaishinshokubutu/>

花の開花が多い6月に合わせて第74号を発行。次号は8月を予定。内容は保護センター館内での下記情報や、今後のイベント、保護センター館外での活動について広く周知。
市内施設や、札幌市内に送付。その他ホームページ・センター館内で掲示。

環境広場さっぽろ2022
主催 札幌市

14 環境広場さっぽろ
16 環境広場さっぽろ
4 環境広場さっぽろ
17 環境広場さっぽろ

第1回「石狩湾をもっと知ろう」CISEネットワーク連携講座

石狩湾から
海の学びを
はじめよう!

2022 7/30(土) - 31(日)
10:00-16:00

札幌に一番近い海である
石狩湾の自然がわかる
トランクキット
(博物館資料持ち出し教材)の
展示と体験ができるよ!

環境広場さっぽろ(札幌ドーム) 環境SDGsゾーン
KA2:札幌市環境局ブース内 KA2-CISEネットワーク

ONLINE
専門家にオンラインで質問してみよう!

水族館や博物館の専門家とオンラインでつながります!
新しい発見や不思議に出会えること間違いなし!
オンラインでの参加(要事前予約)もできますよ!

主催: CISEネットワーク 運営: 一般社団法人オセ
特別協力: 財団法人科学館「海の学び」ミュージアムラボ

海と日本
PROJECT
CISE
NETWORK

石狩湾のトランクキット(CISEネットワーク作成)を活用したイベントの実施。

保護センターは講師として参加。

札幌ドームの会場で石狩湾のトランクキットを置き、対面でイベントを実施している場所と、保護センターやいしかり砂丘の風資料館といった現場をつなぎ、現地にいなくても現場を実際に伝わるようなハイブリットな展開を想定。

○イベント

日 時:令和4年7月30(土)・31日(日)

時 間:30日 13:30~14:20

31日 12:30~13:20

オンライン連携講座プログラム
～自然の不思議や疑問を解決しよう!～

「札幌ドーム(環境広場さっぽろの会場)」と水族館・博物館をつなぎます。水族館や博物館の学芸員さんや飼育員さんに色々質問ができますよ!

【会場(対面参加)】
各回定員10名(先着順)

【オンライン参加】
対象:小学校1年～高校生まで
定員:各回5名(要事前予約)
※お申し込みフォームに
氏名、学年、連絡先(住所、電話番号)を
記載してください。

会場図

ステージゾーン
スポーツゾーン
キャリア免費ゾーン
展示ゾーン
観覧席
入口
出口
石狩湾から
海の学びをはじめよう!

7/30(土)

12:30 ~ 13:20
おたる水族館とオンライン中継
講師 有野健太(おたる水族館)

13:30 ~ 14:20
石狩浜を知ろう
石狩浜とオンライン中継
講師 志賀健司(いしかり学芸の館 常務助監) 高橋真美(石狩湾自然博物館センター)

14:30 ~ 15:20
川と海のつながり
札幌市豊平川さけ科学館と
オンライン中継
講師 有賀望(札幌市豊平川さけ科学館)

7/31(日)

12:30 ~ 13:20
石狩浜を知ろう
石狩浜とオンライン中継
講師 高橋真美(石狩湾自然博物館センター) 志賀健司(いしかり学芸の館 常務助監)

13:30 ~ 14:20
川と海のつながり
千歳水族館とオンライン中継
講師 日原 俊(千歳水族館)

14:30 ~ 15:20
おたる水族館とオンライン中継
講師 有野健太(おたる水族館)

海獣を知ろう
海獣っていったいなんだろう?「毛皮」や「歯(歯板)」は、アザラシやトドの動物がもつ。『動物大のシート』は、アザラシやトドの大きさなどの違いがわかります。

石狩浜を知ろう
「海・川ボート」は、遊覧船や砂などがどこからどきどきくるのか?「自然ボート」は、石狩湾の生き物がどこにいるか?『動物大入場券』は、石狩湾にいる生き物の本物が見られます。

川と海のつながり
「おたる水族館」は、魚のサケと川のサケの違いがわかります。『動物大入場券』は、サケの子どもの生き物の本物です。『サケの一生』は、サケの川や海の生活がわかります。

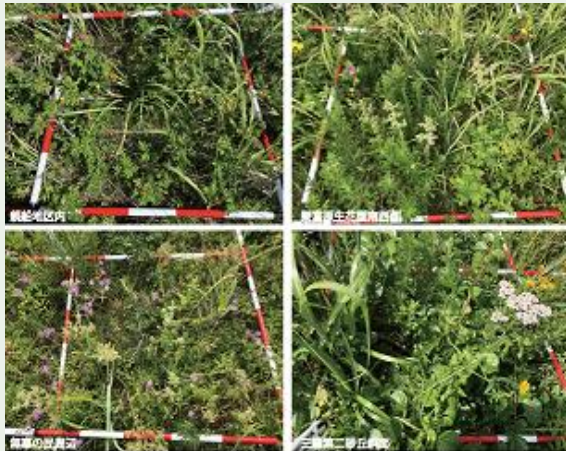
お問い合わせ: CISEネットワーク
担当 事務局 札幌市環境局 資料センター(資料室)
TEL: 011-834-4000(受付) Email: ciset@city.sapporo.jp
ホームページ: https://mirumuseum.hokudai.ac.jp/CISE/

【現植生・生物相の把握】

| 項目 | 目的 | 手法 |
|--|----------------------------|----------------|
| 自生地における 見本植生の選定と植生調査 (海岸草原保全手法の検討) | 観察園のエリアごとの管理に必要な現地情報の収集 | 季節ごとの植生調査 |
| 観察園・再生園の植生調査 (海岸草原保全手法の検討) | 見本となる現地植生との比較に必要な情報のモニタリング | |
| イソスマレの生育状況把握 | イソスマレの状況の把握 | 個体数、生育環境モニタリング |
| ハマボウフウの生育状況と 採取の影響把握 | 捕獲圧や保護区外における生育状況の把握 | |

【中間報告】

自生地における見本植生の選定と植生調査(海岸草原保全手法の検討)



観察園の植生管理の目標とするため、海岸草原に植生見本区を選定し、植生調査を実施。

観察園・再生園の植生調査(海岸草原保全手法の検討)



植生見本区との相違や、観察園・再生園の状況の確認のため、年3回調査を実施。

イソスミレの生育状況把握



GIS位置図

絶滅危惧種イソスミレの生息環境調査、及び動向をモニタリング。

位置情報の記録を蓄積し、今後周辺の植生やイソスミレと植生遷移の指標として記録していく予定。

ハマボウフウの生育状況と採取の影響把握



↑地区ごとに面積当たりの繁殖個体数カウント

←弁天地区で5月に採取した株が再び葉を出している様子を確認

ハマボウフウの一定サイズ以上の個体数と花茎の有無を弁天地区と知津狩浜で調査。

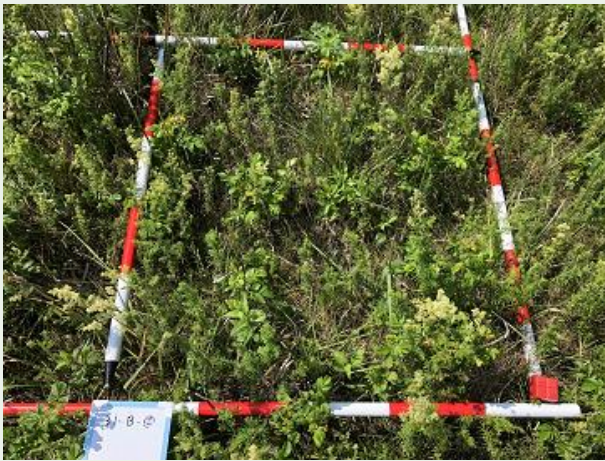
採取後の株の生残、花茎の有無を調査。

植生管理に係る手法の検証

| 項目 | 目的 | 手法 |
|---|--|---------------------------|
| 聚富海岸植生再生試験・モニタリング調査協力 | 海浜植生の再生手法の検討(主催:道総研) | 植生調査等の協力 |
| ハマナス再生園・観察園における自生地植生再現及び効果的維持管理手法の検証(海岸草原保全手法の検討) | 自生地の状況を踏まえて、より自然に近い状態で維持できるような管理手法の検討。 | 現地での状況を踏まえ、日常業務にて播種・除草を実施 |

【中間報告】

聚富海岸植生再生試験・モニタリング調査協力



道総研が行う聚富海岸植生再生試験の中で、再生目標区の植生調査を実施。

ハマナス再生園・観察園における自生地植生再現及び効果的維持管理手法の検証(海岸草原保全手法の検討)



再生園：ハマナスとともに、自生地で混生している種の苗を移植



再生園：チガヤ掘り取り後に、自生地で混生している種の種子を播種

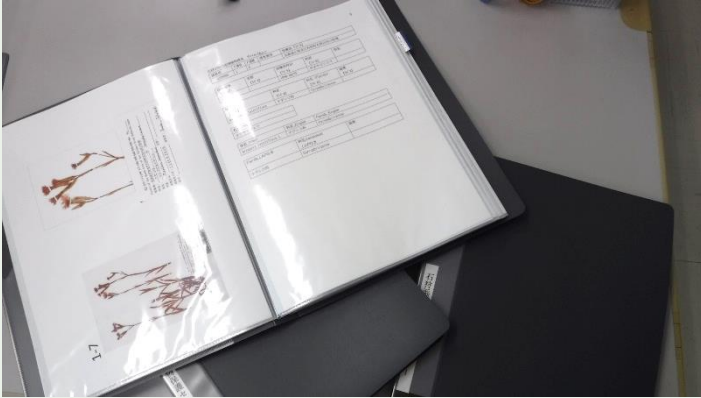
移植時に生じる裸地や内陸性植物の掘り起し・除去で生じる裸地は、外来種が繁茂しやすいため、自生種の積極的な移植や播種で外来種の繁茂を抑制できないか、モニタリング調査の実施。

【資料・データの集約・管理】

| 項目 | 目的 | 手法 |
|------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
| 標本・調査記録・自然情報にかかわる収集・管理 | センターに保管している標本の維持管理 調査の記録や報告書の集約 | 標本の定期点検、調査報告書の作成、関係機関報告書の収集など |

【中間報告】

標本・調査記録・自然情報にかかわる収集・管理



昨年度まとめた植物標本の整理と、湿度管理のこまめな監視等の日常点検の実施。

外来種対策

| 項目 | 目的 | 手法 |
|----------------------|----------------|---------------|
| 生育状況把握、範囲・手法の検討、対策実施 | 石狩浜の環境変化等の状況把握 | 他事業ので現地調査から検討 |

【中間報告】

生育状況把握、範囲・手法の検討、対策実施



聚富地区に生育していたエニンダ(北海道ブルーリスト掲載種)
石狩振興局より照会があり、保護センターにて防除済み。

保護地区の利用状況把握・監視・啓発・維持管理

| 項目 | 目的 | 手法 |
|----------------------------------|-----------------|---------------------------------------|
| 車両侵入の有無、誘導ロープ等の設置・修繕 単管柵の維持管理 | 海浜植物等保護地区の維持管理 | 監視員を配置し、現状の保護地区の監視、車両侵入の有無、ロープの補修等を実施 |
| はまなすの丘公園木道周辺の植生維持管理 | 公園(観光地)としての景観保全 | 目指す自然の景観について専門家を交えた方針の決定。 |

【中間報告】

車両侵入の有無、誘導ロープ等の設置・修繕／単管柵の維持管理



会計年度任用職員として監視員1名を雇用し、週に5日間見回り、侵入の禁止や、植生維持に関して適宜対応に努めた。

はまなすの丘公園木道周辺の植生維持管理



監視業務範囲内で、木道散策の妨げになりうるニセアカシアやアキグミ等内陸性植物について除去。
以前に実施していた景観保全作業等については、公園管理・植生の管理・観光との視点で考えていく必要があるため、アクションプランにて方向性を定めたのちに実施の有無を判断する。

| 項目 | 目的 | 手法 |
|----------------------------|---------------------------|--------------------------|
| ハマボウフウの生育状況調査と連動した啓発型参加型調査 | ふれあい地区の認知度向上のため地元を中心に普及啓発 | ハマボウフウ調査と普及啓発を兼ねたイベントの実施 |

【中間報告】

ハマボウフウの生育状況調査と連動した啓発型参加型調査



**5月14日(土)
親子で学ぶハマボウフウ講座**

ハマボウフウという海辺に生える植物、知ってますか？山菜として地元ではよく食べられていました。今回は、ハマボウフウを採取し、食べる事を通して、ハマボウフウが育つ環境や石狩浜の自然について学ぶ体験型の講座です。※7月16日開催予定の講座との2回連続です。

うみいく

うみいくは、石狩浜で親子向け自然体験活動とボランティアを行っています。毎月1回講座、季節に合わせたプログラムを実施しています。 連絡先: 事務局

HP: <https://umiku.jimdosite.com>

集合：9：20 石狩浜海浜植物保護センター
(石狩市弁天町48-1) ※無料駐車場有り
解散：12：00予定 参加費：1人700円
対象：5歳以上の子どもとその保護者
定員：25名
持ち物：外を歩ける服装、飲み物、軍手、長靴、タオル(ハンカチ)、袋
主催：うみいく
共催：石狩浜海浜植物保護センター
申込：umiku.211@gmail.com
※天候等により中止の場合は、5月15日(日)に日程変更

*このイベントは、「ほっこり 暮らしと自然のつながり」の支援を受け、実施いたします。

春と夏に開催。春には保護地区内でハマボウフウを観察し、保護地区の話やハマボウフウについて学ぶ。夏には実際に春に採ったハマボウフウがどうなったかということに参加者と一緒に確認。

○親子で学ぶハマボウフウ講座

日時：令和4年5月14日(土)／7月16日(土)

10時～12時

主催：うみいく

共催：石狩浜海浜植物保護センター

場所：保護センター／弁天地区

ハマナス再生園の活用に対する協力

| 項目 | 目的 | 手法 |
|---------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 花卉・果実利活用状況の把握 | 石狩浜ハマナス再生協議会との連携したハマナスの活用と普及啓発の実施 | 企業へのハマナス花卉・果実の提供と石狩浜のPR協力依頼 |

【中間報告】

花卉・果実利活用状況の把握



事業者さんの花摘み



採取後に計量を行い、採取量を把握した。
また、ヘルシータイムへの参加も継続して呼び掛け。



ツアーでの花摘み